

社協だより ほほえみ

2023.2
No.90

新ひだか町社会福祉協議会 ☎0146-43-3121 E-mail●shinhidaka@sh-shakyo.jp URL●http://shinhidaka-shakyo.or.jp/

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとございます。皆様には、ご家族ともども新しい年をお迎えになられたことと心からお喜び申し上げます。

私たちを取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化や核家族化の進行、生活様式や価値観の多様化、さらには新型コロナウイルス感染症拡大により、人との接触や集まることへのリスクを懸念し、地域住民の社会的つながりの希薄化が進みつつあるなど、大きく変化しています。

また、二年後の二〇二五年には団塊の世代が後期高齢者になる時期にあたり、これからの地域福祉を推進していくためには、なお一層地域住民のニーズやあらゆる生活課題への対応と地域共生社会の実現に向けた施策・制度に主体的かつ積極的に関わり事業展開を進めていく必要があります。

新ひだか町社会福祉協議会では、令和四年度から五年間の地域福祉実践計画を策定してございますが、基本理念は、『一人ひとりが自分らしく安心して暮らせる地域づくり』と愛称『つながり』とした小地域ネットワーク事業を基軸にサロン活動や地域防災など様々な地域福祉活動を展開し、地域住民の複合化・多様化したニーズに対応するため、個人やその世帯の地域生活課題を把握し、包括的な支援体制づくりを図りながら、コロナ禍においても安心して地域で暮らすことのできる地域共生社会を目指し役職員一丸となつて取り組んでまいります。地域住民の皆さまのご支援ご協力を心からお願い申し上げます。地域住民の皆さまのご支援を心からお願い申し上げます。



社会福祉法人

新ひだか町社会福祉協議会

会長 木村 春夫

災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル策定に向けて

新ひだか町社会福祉協議会は一昨年12月に新ひだか町と災害ボランティアセンター設置・運営等に関する協定書の締結、昨年5月に災害ボランティアセンター運営支援団体の4団体（JAしずない様、ライオンズクラブ様、ロータリークラブ様、国際ソロプチミスト静内様）と災害発生時における災害ボランティアセンターの支援に関する協定を結びました。社協内部でも昨年、職員2名の防災士資格取得、新ひだか町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの策定に向け研修を実施しました。また、災害時の心構えなどの普及・啓発を図るため上記4団体への社協防災士職員の講話なども予定しております。平時から連携体制を築き、災害時には様々な支援ニーズに応えていけるように努めていきます。自治会等で防災講座等の希望があれば社協へご相談ください。



防災士資格者（左から井上、名須川）



地域防災啓発の推進に向けて

－ 令和4年度新ひだか町地域防災研修会 －



新ひだか町社会福祉協議会では、地域防災力の強化推進に取り組むため、毎年地域防災研修会を開催しております。

今年度は9月27日（火）、災害ボランティアセンターの支援に関する協定を結んでいる団体及び機関を対象に「災害ボランティアセンター設置運営にかかる関係機関との支援体制強化に向けて」地域防災研修会を開催しました。実際に被災された

他県での災害支援現場を例として、こういった問題が発生するのか、こういった事、物が必要となるのか、状況の変動に合わせて変わり行く被災者ニーズと支援について関係機関と共に学びました。

令和4年度 小地域ネットワーク専門講座②

誰一人取り残さない防災をするために～みんなでつくる福祉コミュニティ～

新ひだか町は水害や大地震など災害が起きやすい地域であり、防災対策について取り組みの必要性が認識されているところです。今後私たちの住む地域において災害発生時にこういった課題が想定され、どのように福祉の災害対策に取り組んでいくべきか考えることを目的として10月13日（水）に静内庁舎で本研修を開催しました。

研修では一般社団法人Wellbe Design理事長 篠原辰二氏による町の災害リスクと防災、福祉と防災の関連性の変遷、求められる取り組みについての講義をしていただき、むかわ町健康福祉課 参事 今井喜代子氏から胆振東部地震での体験、災害対応についてお話しいただきました。その後グループワークを行い今回の講義、報告を受けて想定される災害対策についての現状や課題について話し合う貴重な意見交換の場となりました。



新ひだか町社協GSWフォローアップ研修会

～ 令和4年12月17日（火）～

（共催：新ひだか町障がい者自立支援協議会・日高地区社協職員連絡協議会）

日本福祉大学社会福祉学部教授原田正樹氏と愛知県半田市社会福祉協議会の前山事務局次長をお招きし、管内の福祉に関わる専門職の方々を対象に、今求められている包括的な支援体制や多職種連携の事例検討などについて講義・演習を行いました。

参加者からは「とても分かりやすい講義だった」「地域共生社会の概念の整理ができた」「ケアリングコミュニティという考え方を学んだ」「各職種のそれぞれの異なる視点とそれぞれの課題について実感することができた」などの声が聞かれ、大変有意義な研修となりました。





新ひだか町共同募金委員会



たくさんの皆様から温かいご協力をいただき心より感謝申し上げます。皆様から寄せられた募金は下記の通り、様々な福祉事業に活用されます。

<赤い羽根共同募金運動 実績額 3,554,335円 (12月29日現在)>

☆福祉団体・ボランティア団体の活動 ☆障がい者と地域の福祉
☆民間福祉活動啓発 ☆福祉教育 ☆社協広報誌発行

<歳末たすけあい運動 実績額 1,313,145円 (12月29日現在)>

☆歳末見舞金交付事業 ☆住民弔慰事業 ☆白寿祝品贈呈事業
☆備品レンタル事業 ☆安心カンファレンス (SOS事業)



静内幼稚園園児一同様



静内ライオンズクラブ様



皆様のご協力に心より感謝申し上げます



新ひだか町ボランティア連絡協議会

手話講座2022

(講師：静内手話サークルたんぽぽ)



10月12日(水)、10月19日(水)社会福祉会館において、手話講座2022が行われました。第1回目は「手話であいさつ&自己紹介!」、第2回目は「伝わる☆日常生活de手話!」と題して、名前や会話で使える手話を学びました。参加者からは「手話に興味があったのでとても勉強になり、楽しく手話を覚えられた」との感想をいただき、有意義な時間となったようです♪

講座開催後から、「手話を学びたい!」「サークルに行ってみよう!」との相談を多数いただいています。あの話題のドラマの影響も大きく、手話への関心が高まっています。みなさんも手話でコミュニケーションの幅を広げてみませんか?



新ひだか町ボランティア連絡協議会では、ほかにも様々な取り組みを通して、ボランティア活動や地域のみなさんとの交流を行っています。今年度は夏に三石の地域活動実践者の方々とパークゴルフ交流会を行いました。

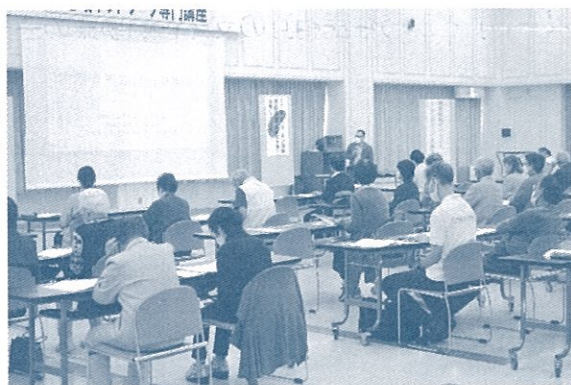
新ひだか町におけるボランティア活動を推進するべく、これからも活動していきます! 今後ともよろしくお願いいたします。



令和4年度 小地域ネットワーク専門講座①

地域福祉ガバナンス～みんなでつくる福祉コミュニティ～

小地域ネットワーク専門講座は地域活動実践者をはじめ、行政職員や民生委員、自治会関係者を対象に、自分たちの住む地域をよりよくしていくために今後どうしていくべきか、現在実践している活動を発展させていくために、ともに学ぶ事業です。9月27日（水）に行われた今回は誰もが参加できる地域交流の場「集いの場」に焦点をあて、一般社団法人Wellbe Design理事長の篠原辰二氏を講師として招き、活動報告や意見交換を行いました。閉じこもりの人を連れ出すために自宅を開放して月2回サロンをしているにこにこサロン（上野栄子代表）と、「0歳から100歳まで歓迎」を掲げ、季節に沿った物づくりや食事作りをしているカフェひまわり（橋本みち子代表）より活動を報告していただき、参加者の意見にできるだけ応えるよう工夫していることや、男性や若い人の参加を促したいと話された。講師の篠原氏は、地域の福祉は住民が作っていく、大切なのは連携によるネットワークで、地域住民と行政のお互いの役割、立場の理解、進むべく方向性の一致や理解が必要で、今後は、互いの活動への関心、理解を深め協力を行っていき、連動性を強化していくことを呼びかけました。



〈支え合い仕組み作り事業〉

三石地区独居高齢者宅家庭訪問（消防署三石支署共催）

～令和4年10月26日（水）～



80歳以上の独居高齢者を対象に家庭訪問を行いました。この事業は、消防署三石支署との共催事業で、春と秋の年2回実施。お宅を一軒ずつ訪問し、健康や生活のこと、心配ごと相談ごと等を伺いながら、火災予防・緊急時通報など周知及び確認をする事業です。今回は、消防署職員と社協職員で本桐・美野和に暮らす22名の方のお宅を訪問しました。

高齢者の皆さんは大変お元気で、急な訪問にも笑顔で対応していただきました。体調のこと、普段の生活の様子などお話を聞かせていただき、啓発用のティッシュなどを差し上げると大変喜ばれました。これから寒くなる季節ですので、ストーブなど火の元には十分注意しましょう。



社協の実施する事業とは!? “つながり”を基本理念とした地域福祉実践です!!

新ひだか町社協は今年度より「一人ひとりが自分らしく安心して暮らせる地域づくり・愛称“つながり”」を基本理念として第6期地域福祉実践計画を実施しています。地域住民の社会的なつながりの希薄化は私たちの暮らしに様々な影響を与えていますが、子育て世帯にも「子育ての孤立化」など大きな影響を与えています。今回は子育てママを中心とした「つながり」づくりをテーマに実施した下記の事業を紹介します。

子育てママのリラックス講座

どんな事業?

子育て中の母親を対象に、学びを通して心をリラックスしリフレッシュする機会となるように、また母親同士の日頃の悩みを共有できることを目的に開催しています。

内容はリフレッシュできる教養講座とママ同士の茶話会を2部構成で実施。今年度は3回実施予定となっており第1回を8月、第2回を11月に実施しました(第3回は2月3日予定)。

参加時は託児対応

講座実施時はお子さんを社協で実施している「親子サポート」という住民相互の支え合い事業の会員さんで託児対応を行いました。

第1回 子育て中でも綺麗ママに簡単にできるメイクとスキンケア講座

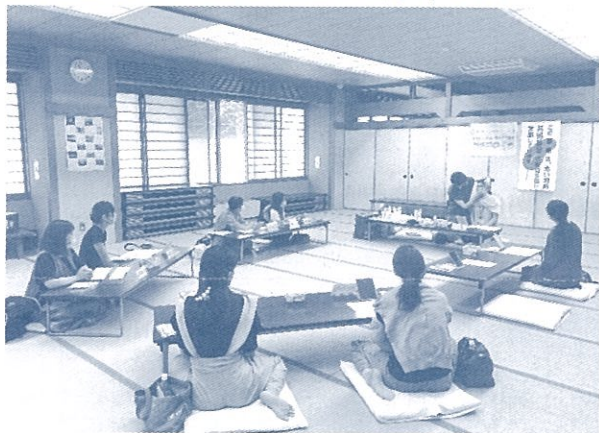
社協職員がモデルとなって実際にスキンケアからメイクを実施。日頃から子供中心に自分の事が後回しになっているママたちにとっては興味深い内容だった様子。真剣に聞き入り、積極的に質問も沢山出ていました。

第2回 心もカラダもデトックスアロマオイルマッサージ講座

20種類のアロマオイルの効能やツボや効き目、気の流れに則したマッサージの方法を学び、アロマオイルで、自分でできる腕と脚のマッサージを行いました。ママたちは腕や脚をあげて、「本当だ!すごい!」とマッサージの効果を実感していました。

茶話会

ママ同士が話し交流できた茶話会は「もっと話したかった」という声が聞かれています。仲間づくりや育児の相談などができる場として好評です。



親子サポートって?

社協で行っている子育て支援サポートです。支え合い会員(サポートする人)と応援会員(サポートを受ける人)それぞれが会員登録し、必要時に利用できる事業となっています。

今年度は支え合い会員への理解と周知が進み、2回も養成講座を実施しています。11月の養成講座では、15名が受講し、新規に5名の方が登録してくださいました。また1月には子育てママ当事者の方が両方会員(サポートも受けるが、サポートもする)として講座を受講しています。



ご厚志ありがとうございました

♡(株)マルハン マルハン静内店様♡

(株)マルハン マルハン静内店 様

クリスマスプレゼント寄贈式



12月15日(木)、(株)マルハン マルハン静内店様から社会貢献活動の一環として来店客が景品交換の時に寄付されたお菓子を町内の児童福祉施設へのクリスマスプレゼントとして寄贈していただきました。町内の児童館をはじめとする5カ所へお届けさせていただいております。また、1月21日(土)に開催された「ふれあいパラダイス」にも活用させていただきました。寄贈に際して松尾マネージャーからは「是非、地域の方々やお子様達へとお役立ていただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。」とお言葉をいただきました。木村会長からは「今回で8回目の寄贈という事で、本当にありがとうございました。地域の子供達も大変喜んでいと思います。」と感謝の意を述べました。様々な種類のお菓子のプレゼントに施設の皆様、行事に参加した子供達が大変喜ばれていました。ありがとうございました。

ご厚志ありがとうございました

【寄附金】

寄附月日	寄 附 者 氏 名	寄附金額	寄附された趣旨	種 別
8月17日	ビッグブラザボウル 様	20,000円	社会福祉チャリティボウリングの益金として	災害
8月19日	北野 雪江 様	20,000円	葬儀に際して	一般
8月22日	西館 秀美 様	30,000円	葬儀に際して	一般
8月22日	右田 富子 様	30,000円	葬儀に際して	一般
9月1日	中橋 清 様	30,000円	葬儀に際して	一般
9月2日	河井 由夫 様	50,000円	社会福祉に役立ててほしい	一般
9月5日	藤川 敬子 様	20,000円	葬儀に際して	一般
9月6日	亀井 三武 様	30,000円	葬儀に際して	一般
9月12日	神垣 待子 様	30,000円	社会福祉に役立ててほしい	一般
9月22日	倉島 諭 様	10,000円	葬儀に際して	一般
9月22日	ビッグブラザボウル 様	20,000円	社会福祉チャリティボウリングの益金として	災害
9月29日	畑端 憲行 様	50,000円	葬儀に際して	一般
9月29日	渡辺 晴美 様	30,000円	葬儀に際して	一般
9月30日	三浦 法子 様	30,000円	葬儀に際して	一般
9月30日	信田 光男 様	20,000円	葬儀に際して	一般
10月4日	荒木 ちか 様	30,000円	葬儀に際して	一般
10月6日	辻崎 和哉 様	50,000円	葬儀に際して	一般
10月17日	東 好行 様	50,000円	葬儀に際して	一般
10月17日	設楽 和子 様	50,000円	葬儀に際して	一般
10月19日	ビッグブラザボウル 様	20,000円	社会福祉チャリティボウリングの益金として	災害
10月20日	小倉 正信 様	50,000円	葬儀に際して	一般
10月24日	米田 ミヤ子 様	30,000円	葬儀に際して	一般
10月25日	紺野 光彦 様	50,000円	葬儀に際して	一般
10月28日	国際ソロプチミスト静内 様	50,000円	設立35周年を記念して社会福祉に役立ててほしい	一般
11月7日	萩澤 昌史 様	30,000円	葬儀に際して	一般
11月7日	先崎 良悦 様	30,000円	葬儀に際して	一般
11月8日	高田 卓朗 様	50,000円	葬儀に際して	一般
11月14日	坂田 トヨ 様	30,000円	葬儀に際して	一般
11月16日	坂本 慶子 様	30,000円	葬儀に際して	一般
11月16日	ビッグブラザボウル 様	20,000円	社会福祉チャリティボウリングの益金として	災害
11月22日	小池 喜江 様	30,000円	葬儀に際して	一般
11月29日	山岸 ミヤ 様	30,000円	葬儀に際して	一般
11月29日	元茂 房子 様	30,000円	葬儀に際して	一般
12月9日	白川 まさ子 様	30,000円	葬儀に際して	一般
12月12日	佐藤 幸 様	30,000円	葬儀に際して	一般
12月16日	八巴 美智子 様	50,000円	葬儀に際して	一般
12月16日	市毛 満 様	50,000円	葬儀に際して	一般
12月19日	白井 玲子 様	30,000円	葬儀に際して	一般
12月20日	中村 あけみ 様	30,000円	葬儀に際して	一般
12月23日	ビッグブラザボウル 様	20,000円	社会福祉チャリティボウリングの益金として	災害
12月26日	香田 薫 様	30,000円	葬儀に際して	一般
12月27日	渡辺 隆 様	100,000円	葬儀に際して	一般
12月27日	体験林業年輪クラブ 会長 千葉 高良 様	58,216円	クラブ解散による残金を社会福祉に役立ててほしい	一般
1月6日	松田 利子 様	30,000円	葬儀に際して	一般
1月10日	山田 慎一 様	30,000円	葬儀に際して	一般
1月11日	徳本 幸雄 様	30,000円	葬儀に際して	一般
1月16日	藤沢 和彦 様	100,000円	葬儀に際して	一般

※一般 … 一般社会福祉事業寄附金

災害 … 新ひだか町災害ボランティアセンター基金

【寄贈品】

寄贈月日	寄贈者氏名	寄贈品名	寄贈された趣旨
12月7日	北海道コカ・コーラボトリング(株) 様	飲み物 492本	町内の児童福祉施設へのプレゼントとして
12月15日	(株)マルハン マルハン静内店 様	お菓子類 5施設分+事業分	町内の児童福祉施設へのプレゼントとして

☆お問合せ・ご相談はお気軽にコチラまで！

社会福祉法人 新ひだか町社会福祉協議会

〒056-0019 日高郡新ひだか町静内青柳町2丁目3番1号 電話 0146-43-3121 FAX 0146-43-2223

■三石事務所 〒059-3108 日高郡新ひだか町三石本町214番地の1 電話 0146-32-3355 FAX 0146-32-3355

E-mail:shinhidaka@sh-shakyo.jp URL:http://shinhidaka-shakyo.or.jp/

